



創樹



題字は 田中蘆雪さん

発行元
 社会福祉法人創樹会
 広島県福山市水呑町7187番地1
 TEL (084)956-0255
 FAX (084)956-5749

「本人さんはどう思うてはるんやろ」

今年も園庭の桜が満開になり、七人の新たな仲間を迎えることが出来ました。福祉業界も求人難ともいわれるこの時期に新しい顔がそろったことに感慨を覚えます。

四月一日には、新たな元号「令和」が発表され、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる日本に」「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」との説明がありました。しかし、私たちの周りには「厳しい生きづらさを抱えている」障害のある皆さんがあります。新たな元号を迎え、新たな時代の幕開けとも言われますが、福祉的支援を必要とする人と支える人たちにとっても同じように清らかで美しい時代が訪れることを心から願うものでもあります。

さて、今年度は、福山六方学園が一九五九年に児童施設として誕生し六十年目を迎え、社会福祉法人創樹会の設立から二十八回目となります。小さな家庭舎から始まり、重度児治療舎あゆみ苑(重度棟)、通勤センター彦山寮、あゆみ苑成人寮などの開設を経て、現在では二十四の事業所と十五のグループホームまでになりました。振り返れば、故田中了諦園長を中心に子供たちの成長や通学、就職、地域生活、家庭生活、発達・療育支援など時代に求められる機能を誠実に展開してきた結果でもありますし、多くの皆さんやご家族のご支援があり、開園以来約七百人を超す職員・スタッフの奮闘の結果でもあります。また、これらの事業を支える視点、「障がいの有無にかかわらず人生の入り口は子どもからはじまる」、「障がいのある子ども(人)にこそ地域のふつうの住まい(生活)が必要」、「人生のターミナルを迎えた九割以上の人が、自宅で死にたい」と思っている」を大切に、そこから派生する様々な課題に向き合い、「人間福祉」構築にいそしんできた六十年でもあります。今年度は発達障害など障害の重い方や高齢の方を中心にしたグループホームの建設を予定

しています。

表題の「本人さんはどう思うてはるんやろ」は、一九六三年、糸賀一雄氏により医療と教育を一体的に行う「療育」実践の場として開設されたびわこ学園の初代園長岡崎英彦氏が、職員との厳しい話し合いの中で、とかく施設運営が前面に出るとき「本人さんはどう思うてはるんやろ」とボツリとつぶやいた言葉です。(二〇一九年一月二十一日付 福祉新聞風土記)

今日、障害者総合支援法のなかで、各事業所とも常勤換算による職員配置や様々な加算の獲得で何とか赤字を出さないよう四苦八苦していますが、新年度からは働き方改革の義務化が始まり、AI(人工知能)の活用や外国人労働者雇用などが検討されます。しかし、職員確保ができず事業閉鎖や他法人との統合を余儀なくされる事業体も出始め、福祉の世界も騒然としてきています。

福山六方学園創設六十周年を迎え、私たちが果たしてきた役割は何であったのか？

ただひたすら、三つの視点を追い続けてきたのは誤りであったのだろうか、ふと胸をよぎるとき「本人さんはどう思うてはるんやろ」との言葉に出会い、「この子らを世の光に」の言葉を残した糸賀一雄氏の「発達保障」を思い起こしている昨今でもあります。また、昨年末には遠くマレーシアの地で障がい福祉構築に献身した中澤健氏から「この子らを世の光に」の先にあるものは何かとの問いかけをいただきました。

今年度もこれらの課題に向き合いながら、障がいのある本人を真ん中に、職員・スタッフともども邁進してまいります。皆様方には変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

二〇一九年四月一日

社会福祉法人創樹会

理事長 西山堅太郎

各施設管理者よりご挨拶申し上げます。今年度もよろしくお願ひいたします。

わいわい



管理者 細羽 正樹

春の日差しが心地よい季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のことと存じます。

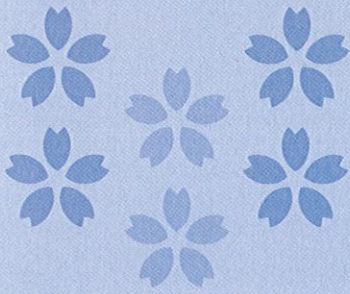
さわらびは今年度も生活介護事業(定員四十名)と日中一時支援事業(定員五名)の二事業を行っています。

早いもので、新しい建物に移転・開所してから三年目を迎えています。

ずいぶん遅くなつてしまいました。昨年度途中には、厨房設備の稼働(食事提供業務委託)も始まり、様々な食事形態のニーズがある中、ミキサー食、刻み食等にも細やかに対応していただけたようになります。これが一応のハード面の整備は終わりましたので、これからは現建物・設備をどう効果的に使いながら、ソフト面を考えていくかということとなります。

今年度の主な取り組みは以下の通りです。

①特別支援学校や相談事業所に広くお知らせし、実習・見学、体験利用を積極的に受け入れる等、新規の利用につながるよう働きかけます。また、利用ニーズにお応えできるように送迎エリアの拡



大も検討中です。②今後の生活介護事業の動向も見据えながら、サービスの中身・質の再検討をします。③利用者、ご家族の体調の変化に起因する課題が多く発生している現状から、相談事業所等と連携し、利用者だけでなく、ご家族も含めた支援を心掛けていきます。

④働き方改革がしきりに取り上げられています。が、効率的な業務を心掛けながら、スタッフ一人ひとりが生き生きと働くことができる環境作りを検討します。

ここ数年、求人難が続いており、スタッフの人員配置に四苦八苦している現状があります。とすればスタッフがみんな意気消沈してしまうのではないかと危惧しています。どうかすれば元気のあたる、魅力ある事業所になれるかを引き続き、みんなで考えながら、現状を乗り切っていきたいと考えています。

サポートセンターひびきの家



管理者 片岡 志保美

暖かい日射しが街を明るく彩る季節となりました。

サポートセンターひびきの家は、福山市水呑町内でグループホーム三ヶ所を運営しています。利用されている方は二十代から六十代までで、男性十名、女性七名です。(平均年齢は四十六・七歳、三月末現在)

利用者の方の多くは日中は生活介護の事業所に通われ、帰宅後、ホームで入浴や夕食・余暇という時間を過ごされています。

今年度は①利用される方それぞれの特性を尊重しながら、個別支援を重視していきます。加齢とともに支援内容に変化が見られ、支援量も増加しています。一人ひとりの心身の状態に配慮した細やかな支援を行い、生活される方の「今」を大切にしていきたいと思っております。

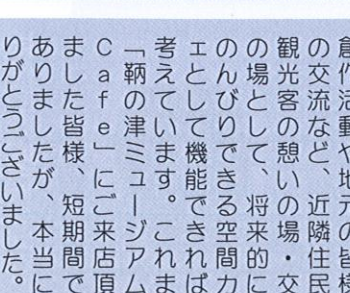
②日中活動の事業所との情報交換や就労生活の支援を行ないます。活動の場での様子や暮らしの場での姿などを情報交換し、連携を取りながら近

づけていきたいと思っております。③早めの通院を心がけ、健康な生活を維持していただけるようにします。年齢を重ねた利用者の方は、以前よりも動き方がゆっくりになったり、動かれる様子にぎこちなさを感じられるようになりました。ご自身で動きにくさを感じられていた方もいらっしゃると思います。その方の気持ちに寄り添いながら医療機関や法人内看護師と連携して、心身の状態の安定を図っていきたく思います。

④新しいグループホームの開設を目指し、準備を進めていきます。若年の方などを対象としたグループホームの建設に向け、スタッフのスキルアップを重要課題ととらえ、法人内外の研修会等に積極的に参加できるようにしていきます。

⑤地域の清掃活動や防災訓練など、積極的に地域活動に参加できるように支援をしていきます。少人数での落ちついた、それぞれのほうが「楽しい」と思える暮らしができるように支援をしていきます。

今年度の「今」を大切にしたいと思っております。



わいわい



管理者 猪原 義久

春らんまん、一年中がいちばん美しく楽しい季節がやってまいりました。

これまで副管理者およびサービスマン管理責任者として勤務していましたが、井豊治が異動となり、新たに「サポートセンターの家」の管理者に就任いたしました。今後は管理者猪原がサービスマン管理責任者を兼務し、皆様の個別支援計画などを作成しますので、よろしくお願ひ致します。

さて、これまで懸案事項でありました「津の津ミューリアム+Cafe」を、新年度からは「あゆみ苑成人寮」の場として隣接の「津の津ミューリアム」が一体的に活用致します。生活介護を利用される皆様の創作活動や地元の皆様との交流など、近隣住民や観光客の憩いの場・交流の場として、将来的にはのんびりできる空間カフェとして機能できればと考えています。これまで「津の津ミューリアム+Cafe」にご来店頂きました皆様、短期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

新年度の「さくら」の重点目標ですが、特に次の3点に着目し取り組みを致します。①「あゆみ苑成人寮就労移行支援事業」の事業廃止に伴い、その機能を「さくら」が受け継ぎ、さくらの作業場「むくの木」で、これまで培ってきたノウハウを生かしながら、コミュニケーションや大きな集団が苦手な方への就労に向けた取り組みを行います。②作業工程の見直しや生産性を高め、安定した作業収入を得る事で、工賃向上に取り組みします。

③また、成果を上げることばかりに着目するのではなく、就労が困難な人たちに日常的に必要な支援を行います。

以上の事を新年度事業計画の一部として取り組みます。失敗を恐れず新しい事にチャレンジする気持ちで大切に進進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



新年度のご挨拶

ヘルパーステーションあしす

管理者 黒田 将義



日を追うにつれ暖かくなり、過ごしやすいい季節を迎えました。私たちあしすのヘルパーは外出支援が多いこともあり、減らし動きやすい状態での支援をしています。これからの季節は、気温の上昇と共に衣服の枚数を減らすことができ、荷物も軽減でき、介助に集中しやすくなるので、ゆっくりに利用される方々と関わることもできます。

外出支援をしていて思っているのは、以前に比べて、福山市内は、障がいのある方々が外出しやすくなっているように感じています。福山駅にはエレベーター設置が進み、車椅子を利用される方が駅を使いやすくなりました。また、国道付近の歩道には、自転車と歩行者で色分けされており、どこを行けば安全なのか伝えやすくなりました。サードピアや中央図書館にはベッド付きの多目的トイレが設置され、身体障害の方がトイレを利用しやすくなりました。他にも様々な暮らしやすい配慮が多くなりました。街は暮らしやすくなり変化



すてつぷ・ONEーすてつぷ ふあんだす・あさか

管理者 石井 雄三



幼児期から学齢期の通所支援として、児童発達支援「すてつぷ」と放課後等デイサービス「ONEーすてつぷ」、幼児の日中一時支援「あさか」、そして昨年一月に開設した放課後等デイサービス「ふあんだす」を加えて四事業を実施しています。

「すてつぷ」は、定員一〇名の三クラスに分かれた単独通園の事業所で、三歳から年長までの子どもたちと、どんな小さな変化も見逃さず、子どもの気持ちに共感していきながら小集団での療育を提供していきます。

「ONEーすてつぷ」は、二〇名の定員で小学校一年生から高等部三年生までの児童・生徒が通ってきています。自立生活支援と余暇支援を中心に、関係諸機関と連携を図りながら一人ひとりにしっかりと向き合った支援を心掛けていきます。

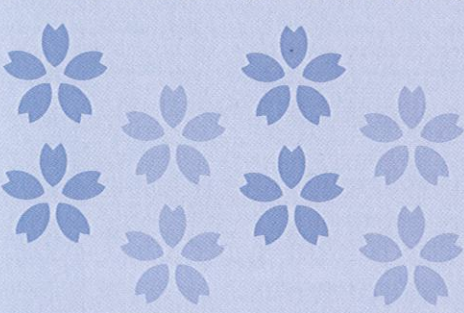
「あさか」は、定員五名の幼児さんが利用する事業です。ほとんどが児童発達支援センターの在籍ですが、安心して通えるよう環境を整備していき

「ふあんだす」は、開設して一年が過ぎました。定員一〇名の放課後等デイサービスですが、学齢期における療育支援を主眼に置き、保護者・学校等関係機関と密な連携を図りながら発達支援を充実させていきます。

卸町の一角では、毎日子どもたちの明るく元気な声が響き渡っています。今年度も新しいお友だちを迎えて、さまざまな活動や遊びを提供していきたいと思っております。

さらに、地域で暮らしながら本人や家族の様々な声に真摯に耳を傾け、丁寧な対応をしているきながら真に信頼される事業所をめざしてまいります。

今年もどうぞよろしくお願いたします。



相談支援センター風ぐるま

管理者 藤井 祥普



春陽まぶしい毎日が続く中、環境や生活が新しく変わった方も多いのではないのでしょうか。

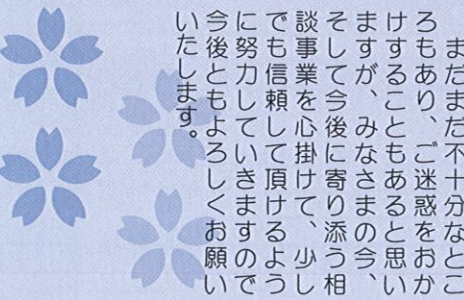
学校や職場、通所事業所など新たなライフステージにかかわることは、楽しみなこと不安なこと、沢山あると思います。計画相談として契約させて頂いているみなさんの新しい活動参加や支援者との関わりが円滑に進んで行けるように、ご本人・ご家族とお話ししながら関係作りのお手伝いをしていくことを大切に取組んでいます。そして、その後のみなさんの様子を定期的に確認させて頂くモニタリングです。今年もどうぞよろしくお願いたします。

ただ、児童相談支援については今回のモニタリング標準期間の見直しについては現状通りになっています。児童期は変化の多い時期なので、何か気になる事がありましたらモニタリング時期ではなくても遠慮なくご相談をして頂ければと思います。

まだまだ不十分ながらも、ご迷惑をおかけすることもありますが、みなさまの今、そして今後に寄り添う相談事業を心掛けて、少しでも信頼して頂けるように努力していきますので、今後ともよろしくお願いたします。

特定サービスの利用されている方の標準期間の見直しが行われることになっていきます。今までは六ヶ月や十二ヶ月のモニタリング期間でしたが、三ヶ月でのモニタリングになる方が大半になってくると思われま

これは、相談支援専門員が、今まで以上にご本人や家族・支援者と継続的かつ定期的な関わりを持つことで生活状況やサービスの利用状況を確認し、ニーズに応じた適切



各施設管理者よりご挨拶申し上げます。今年度もよろしくお願ひいたします。

事務局

事務局長 田中 創



平成三十一年度を迎え、四月一日に新卒者・新入職員の採用と人事異動に伴う辞令交付式を行いました。本年度新たに辞令を受けた若き職員と新たな役職に就いた職員、そして異動された職員は、緊張した面持ちながらも、皆さんを支え、という強い想いを感じさせてくれました。

今年度は、五月に「平成」から「令和」に変わる節目の年、「創樹会」としても大きな節目の年となります。「社会福祉法人六方学園」の分園として「福山六方学園」が昭和三十四年（一九五九年）十月一日に、この福山水呑の地に創設され六十周年を迎えることとなりました。この節目の年に、記念行事を行うにあたり、準備に多くの職員が携わることで、これまでの歴史を辿り法人への理解を深め、次の新たなスタートを迎える好機として臨みと思っております。記念行事として、毎年四月二十九日に行っております「創樹祭」を皮切りに地域の皆様方に「福山六方学園」がこの地に創設され六十年にな

る事を知っていただく機会にしたいと思っております。また、「一日耐寒強歩」は毎年十二月に法人独自で行っていますが、今年度は町内の方々も巻き込んだ行事にしたいと思っております。そして「福山六方学園創設六十年記念式典」を九月七日にニューキャッスルホテルで行わせて頂きます。この六十年を支えて下さった多くの皆様方に出席を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

喫緊の課題として、「創樹会」としての歴史を今後も継続していくには、人材確保が重要です。年々人材確保が非常に難しくなっています。が、「創樹会」の魅力発信をこれまで以上にしたい、働きたい法人として、多くの皆さんに認識され選ばれる活動を行います。この節目の年、「障がいのある人たちの人生を支える」「嬉しいサービスマス」提供事業体としての法人運営のうえで、法人事務局が潤滑油として機能する一年にしたいと思っております。今後とも皆様方にご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



とんど

一月十四日に創樹会の所有するグラウンドにて、とんどを行います。



とんどとは、正月の松飾り、しめ縄、書き初めなどを家々から持ち寄り、一か所につきみあげて燃やし、厄を燃やすという日本全国に伝わるお正月の行事です。今年度は本厄が六名、年男、年女が一名ずつおられました。とんどの大きさを見て利用者さんたちはとても驚いていました。いざとんどを燃やすと最初は皆さんとても驚いていましたが、暖かい炎を近くで見ると、しっかりと煙を浴びてしっかりと厄を払うことができました。

神楽

あゆみ苑成人寮

あゆみ苑成人寮の多目的室にて、備後田尻荒神楽団の皆様をお招きしまして、盛大な神楽が行われました。



今年一年のあゆみ苑の無病息災を祈って、迫力のある神楽を舞ってくださいました。太鼓の音に鼓舞され、利用者さんもマイクを持ちたり立ち上がったたりして神楽に参加され、楽しい時間を過ごすことができました。今年もよい年を送れそうです。備後田尻荒神楽団の皆様、ありがとうございました。

あゆみ苑成人寮 山下 和朗

成人期ダウン症の理解と支援

三月一日（金）、三月三日（日）東京学芸大学教授、菅野敦先生に『成人期ダウン症の理解と支援』について研修をして頂き、ダウン症の急激な退行について詳しく教えて頂きました。急激な退行では心理的な問題がひとつの原因であることが分かり、ストレスへの環境改善の大切さを知ることができました。また『働く・学ぶ・楽しむ・暮らす・関わる』の四つの領域を支援の中に取り入れて、定期的に老化度、退行度チェックを行い退行に対しての変化に気づけるようにしていけたら良いと思います。今回の研修で学んだことを支援の中で活かしてダウン症の方の急激な退行を未然に防げるように支援していきたいと思っております。

サポートセンター友の家 藤原 加代子

菅野敦先生 園内研修



新人スタッフ紹介

～多賀 有紗～



福山市立大学から来ました多賀有紗です。ONE-すってぶでお世話になります。大学で学んだことを生かして頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いします。

～秋山 咲～



ふぁんたすでお世話になる秋山です。小学生のころからバドミントンをしており、体を動かすことが好きです。たくさん笑って、楽しく元気よく、子どもたちとかがわっていただけたいと思います。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

福山平成大学から来ました小島です。今年から福山六方学園でお世話になります。これから分からないことがあれば先輩職員の方にたくさん質問をしようと思うので優しく教えてください。よろしくお願いします。

～小島 啓佑～



～田淵 美江～



このたび“すてっぶ”に配属になりました、田淵美江です。

これまでは保育所で働いていました。療育や特別支援教育に興味があり創樹会に入らせていただくことになりました。

子どもたちのパワーに負けないように笑顔で頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

～野中 茜里～



福山平成大学から来ました野中です。今年から、あゆみ苑成人寮でお世話になります。未熟ですが、ハングリーな心を持ってこれからたくさん学んでいきたいです。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

さわらびに入社して3ヶ月が経ちました。施設職員の皆様の丁寧な指導のお陰で日々楽しく働く事ができ、今は何より利用者さんに会えるのが楽しみです。一人一人の色々な想いを感じとれるように笑顔を絶やさず、コミュニケーションを大切にしていきたいと思います。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますがどうぞよろしくお願い致します。

～沖藤 ひとみ～



今年からサポートセンター友の家でお世話になります。岡崎慶一と申します。不慣れな点が多いですが、利用者さんから積極的に学んで頑張りますので、よろしくお願い致します。

～岡崎 慶一～



～藤井 妙子～



2月18日より、あゆみ苑女子棟で働かせていただいております。藤井妙子と申します。13時半～17時半の4時間のパートタイムです。年齢63歳・家族6人・趣味・読書(ミステリー小説アガサクリスティのミスマーブルの事件簿)が好きです。苑の仕事を早く覚え、皆さんと仲良くなり、毎日笑顔で生活をしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



～佐藤 秀憲～

3月よりサポートセンター友の家で働く事になりました佐藤です。現在～はじめはどのように利用者さんと関わっていけば良いのか不安が有りましたが、管理者、先輩方からアドバイスをもらい少しずつ利用者さんとの関係を築いていけるようにやっています。目標・抱負～利用者さんとの良い関係を築き、自身の健康に配慮し、感染症予防に努め、すばやく反応出来る様に、理解力・判断力を養う努力をする。未熟な私ですが、年齢に関係なく教えて頂くことも多々有るかと思っています。素直に聞き、見る事を大切にしたいと思っています。

創樹会 60周年記念行事について

この美しい水呑の山合いに深く根を下ろし、行末永い子たちの心の礎地として、幸せを培う峻烈な指導や訓練の場として、福祉という木の枝を広く厚く茂らせていきたいと念じています。

(記：田中了諦。昭和五十五年五月)

という想いをもって、昭和三十四年十月に創設してから六十年になります。

六十年間を振り返り、新たな歩みを始めていくにあたり、皆様方と共に祝い致したく、次のとおり記念事業を行います。改めてご案内申し上げますので、日程のご配慮お願い致します。

◎記念式典：九月七日(土)

午前は「発達障害学会ポストセミナー」
午後は、式典・祝賀会

◎別途、利用者・家族の方々と共に祝いする会も検討中です。

◎四月二十九日 学園園庭にて「創樹祭」

◎九月 鞆の津ミュージアムにて作品展

◎十二月 強歩大会(地域の方々との交流)



昭和34年建設中の学園

ご寄贈

広島市立大学芸術学部彫刻専攻の卒業生、大村知空さんより木彫りの作品を寄贈していただきました。ダウン症の方をモデルにした等身大の彫刻作品です。木の持つ温かさで作品の優しい表情が、周りの人たちを癒してくれるものと思います。あゆみ苑の中に展示する予定です。ご来園の際には是非、ご覧下さい。



ご寄贈頂いた彫刻

第49回 創樹祭
平成31年4月29日(月・祝) 10:00~15:30
雨天決行
会場: 福山六方学園
倉庫: 倉庫小学校

模擬店
お好み焼き
ソフトクリーム
たこ焼き
輪餅
もり餅さん!

ダンス!
演奏!
大盛りあがり!
応援してね!

他にも...
作品展示
ゲームコーナー
などなど

ボニーの乗馬体験
※体験制限あり

おこわ・和菓子・お餅の販売!
父石家本店

藤井堂の
カレーライス
ピンクの扉でカレーを食べてください!

豪華景品があたるかも!
ビンゴゲーム

主催: 社会福祉法人 創樹会
〒730-0202 福山府本町1187番地1
TEL: 084-809-0255
※本会各小から会場までの無料送迎サービスあり。

ありがとうございました (2019.1.1~2019.3.31)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)

*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ご寄贈 ・福山六方学園家族会 ・関係者(1名)
- ボランティア ・備後田尻荒神神楽団(2月11日)

実習生・交流

- 保育士

2月12日~10日間	中国学園大学	3名
2月25日~10日間	広島文教女子大学	1名
3月11日~11日間	広島文化学園大学	3名

今後の予定

全体
4月29日...創樹祭

福山六方学園
4月7日...お花見

あゆみ苑成人寮
4月7日...お花見
4月25日...しろくま楽団
5月21日...ホースセラピー

サポートセンター友の家
4月...GH交流会・ふりうんの集い
5月...GH交流会・ふりうんの集い
グラウンドゴルフ大会
6月...GH交流会・ふりうんの集い

ぶちええね！

～宿泊強歩に行ってきました！～

2月23・24日に学園の伝統行事、第58回目の宿泊強歩が行われました。児童から1名、成人から2名参加されました。

当日は天候にも恵まれ、全員ではありませんでしたが、無事に児童1名は53kmを完歩することができ、皆さん怪我をすることなく元気に歩かれました。



1日目は学園からスタートし、草戸稲荷神社、子ども家庭センター、神村コミュニティセンターを經由し、昼食後は尾道東公園を經由し尾道市役所にゴールしました。

寒空の下で冷たい風に吹かれながら一生懸命歩かれる姿は、大変逞しく感じました。

各休憩ポイントでは多くの利用者の方が応援にかけつけて下さり、あたたかい声援や子どもたちの元気な掛け声を励みに一生懸命歩くことができました。

利用者の皆様・スタッフの方々、ありがとうございました。

ゴール後に、完歩賞を受け取った顔は達成感に満ち溢れ、スタッフ共々、喜びを共感することができました。

利用者の皆さん・ご家族の皆様・地域の方々など多くの方に支えて頂き、無事に第58回宿泊強歩を終えることができました。スタッフ一同感謝しております。ご協力ありがとうございました。

フェイスブックを始めました！

創樹会のフェイスブックページを開設しました。
よろしければ、下記URLにぜひアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/soujukai1959/>



社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp> ☒ fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)(日中一時支援事業)
あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)
サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)
サポートセンター友の家(共同生活援助事業)
さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)
さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)
ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)
ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)
ふぁんたず(放課後等デイサービス)
相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)

あとがき

今年度も広報誌「創樹」を含め皆様が安心できる生活、笑顔がみえる場所、となるようスタッフ一同全力で努めて参ります。今年度も宜しくお願い致します。

(編集スタッフ一同)